

## 1. 教育計画

## 公衆衛生看護学

分野	専門分野 公衆衛生看護学	科目名	住民を支える技術
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	公衆衛生看護技術論 専任教員 斎藤 恵子 (28 時間)		
講師の実務経験	看護師として他病院に1年、保健師として自治体に36年		
学習目標	1. 看護が提供される場の特性と支援技術の特徴を理解する。 2. 家庭訪問、健康相談等の具体的支援の内容と方法を理解する。		
成績評価方法	記試験 90点 レポート10点 (出席状況・演習への取り組み方も加味します。)		
使用テキスト	医学書院：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術		
参考文献	資料にて配布		
履修上の留意	4年次の「地域の暮らしを衛る実習」「地域の暮らしを創る実習」で行う技術のため積極的に獲得できるようにする。		
講師からの メッセージ	地域住民の力を引き出す支援技術の重要性を考えてください。		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	対人支援の基本	家族とは 対人支援の目的	講義	
2	2	健康相談の方法と実際	対象者の援助ニーズの把握と内容	講義	
3	2	健康相談の方法と実際	健康相談の事例展開	演習	
4	2	健康相談の方法と実際	ロールプレイ	演習	
5	2	家庭訪問の方法と実際	家庭訪問の目的、対象	講義	
6	2	家庭訪問の方法と実際	家庭訪問の実際 アセスメント	演習	
7	2	家庭訪問の方法と実際	ロールプレイ	演習	
8	2	健診の方法と実際	サイクル別の健診、目的、対象	講義	
9	2	健診の方法と実際	健診のプロセス	演習	
10	2	健診の方法と実際	ロールプレイ	演習	
11	2	健診の方法と実際	ロールプレイ	演習	
12	2	健診の方法と実際	健診事後のフォロー体制、支援事業	演習	
13	2	対人支援の実際	母子保健事業の実際	講義	
14	2	対人支援の実際	成人保健事業の実際	講義	
15	2	評価	筆記試験		